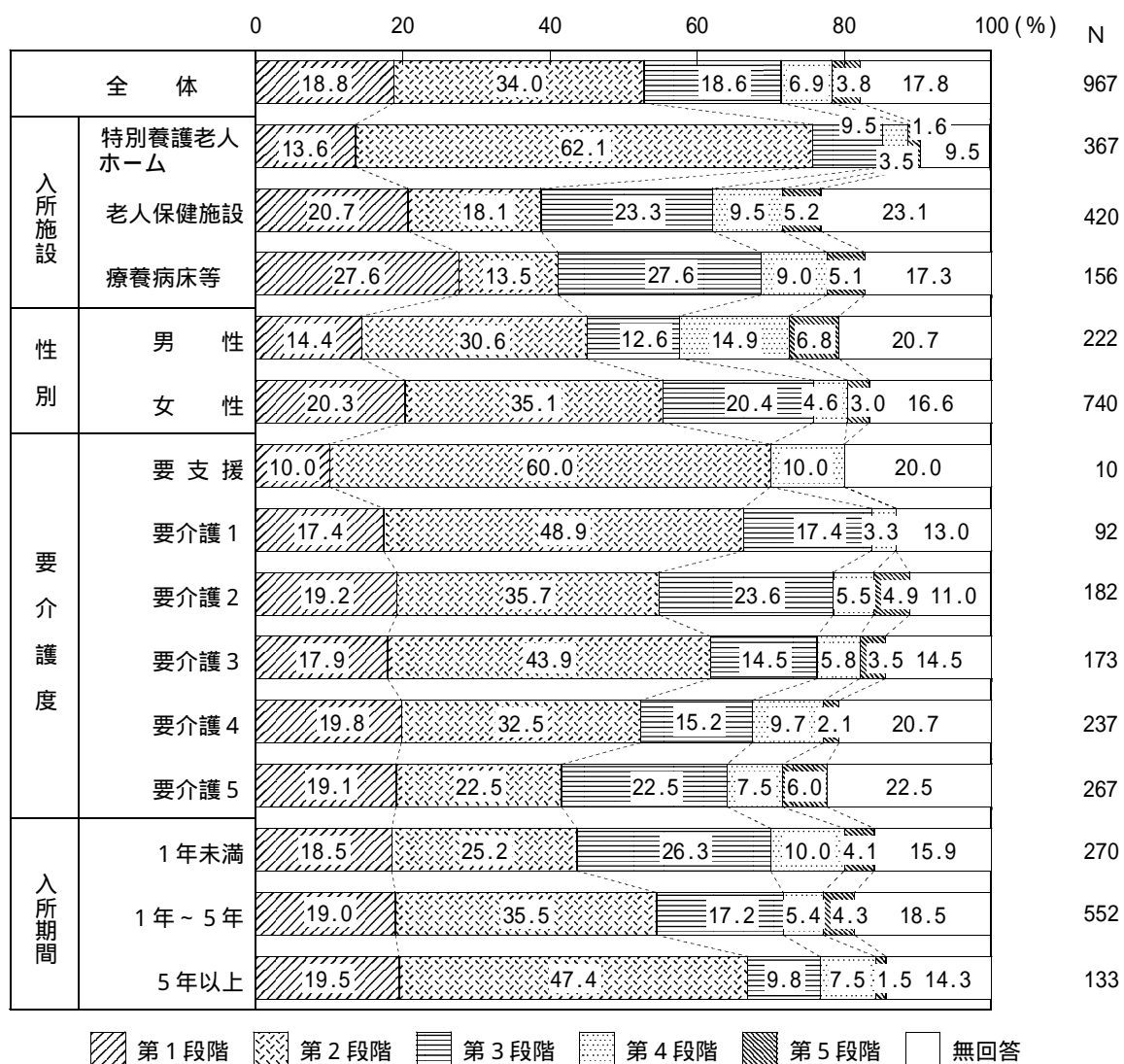


4 保険料・利用者負担

(1) 介護保険料

「10月の介護保険料はいくらでしたか。減額されている方については、減額前の金額で教えてください」という設問に対しては、「第2段階」(34.0%)が最も高く、次いで「第1段階」(18.8%)、「第3段階」(18.6%)となっています。これを入所施設別にみると、特別養護老人ホームは「第2段階」(62.1%)が圧倒的に高いのに対し、老人保健施設および療養病床等は「第3段階」と「第1段階」が高くなっています。入所期間別にみると、介護保険制度が施行されてから入所した1年未満は、1年～5年および5年以上より、「第1段階」「第2段階」が低く、「第3段階」「第4段階」が高くなっています。欄外に「年払いなのでわかりません。また『減額』というのは何ですか」「会社で払っているのわかりません」「年金から払っているのわからない」「家族が管理している」などと記入されていました。

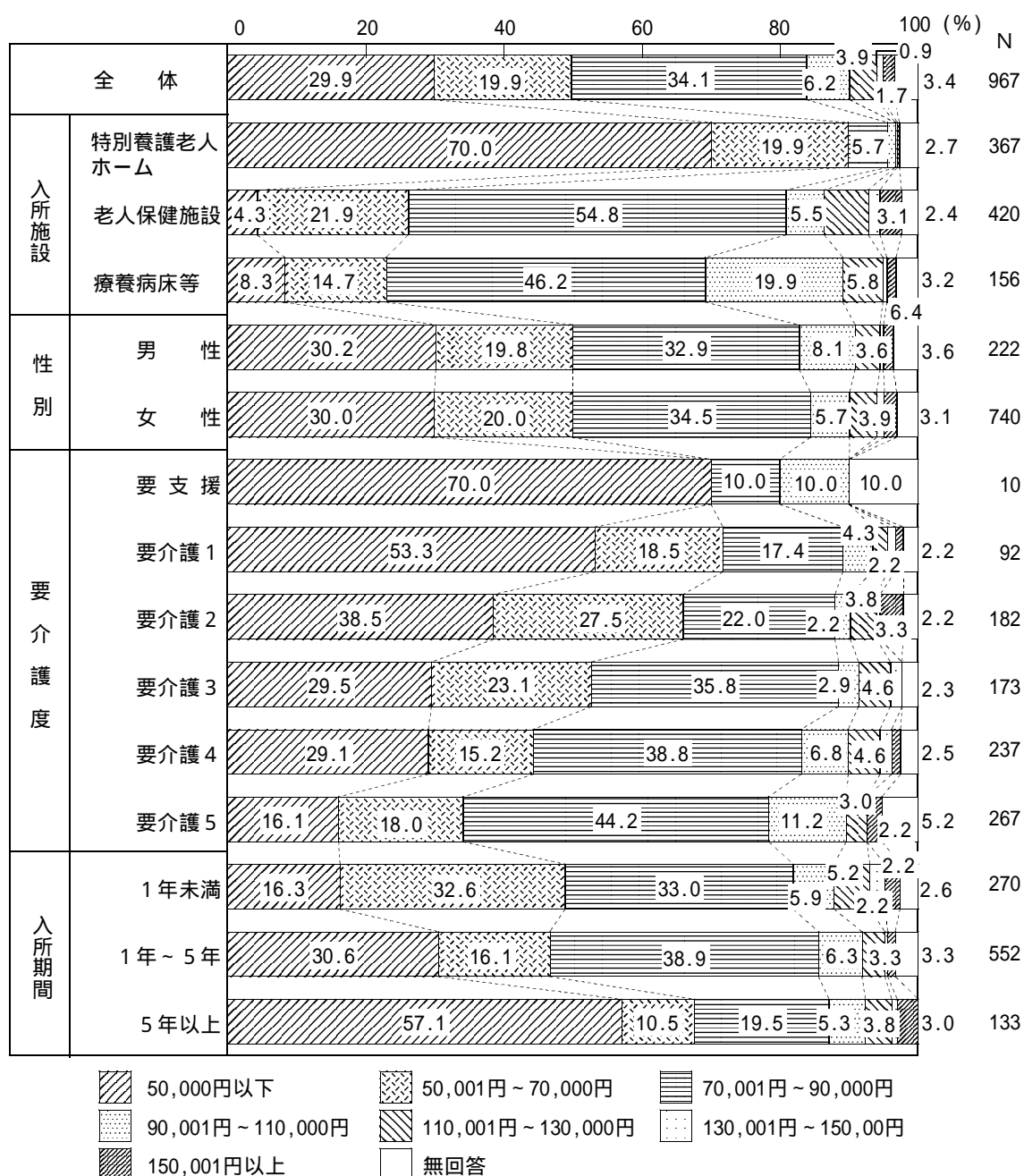
図4-12 介護保険料の段階



(2) 平成13年10月分の利用者負担金

「平成13年10月分の利用者負担金（日常生活費・差額ベッド代等を含みます）はどれくらいでしたか」という設問に対しては、「70,001円～90,000円」（34.1%）が最も高く、次いで「50,000円以下」（29.9%）、「50,001円～70,000円」（19.9%）となっており、90,001円以上は12.7%にすぎません。特別養護老人ホームは約90%が70,000円以下なのに対し、老人保健施設および療養病床等は「70,001円～90,000円」が最も高くなっています。また、要介護度が重い人ほど金額が高く、長期入所（院）している人ほど金額が低くなる傾向が出ています。

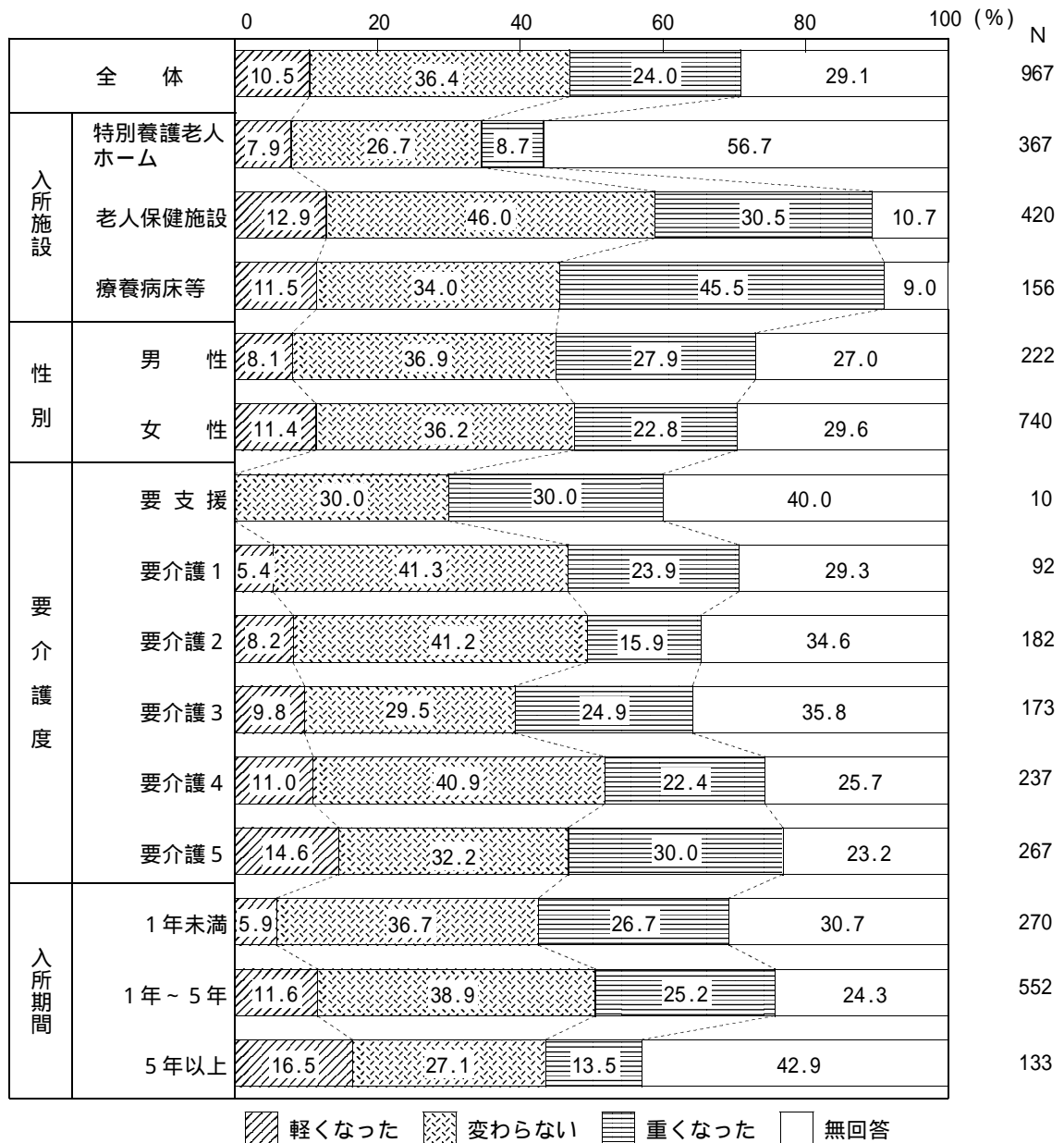
図4-13 平成13年10月分の利用者負担金



(3) 金銭的負担感の変化

「介護保険制度になって、金銭的な負担感はどう変わりましたか」という設問に対しては、「軽くなった」(10.5%)、「変わらない」(36.4%)、「重くなった」(24.0%)となっています。「重くなった」は、入所施設別では療養病床等、性別では男性、要介護度別では要支援および要介護5、入所期間別では短期ほど高くなっています。欄外に「わからない」(98件)、「制度発足後に受けているので分らないが、一部負担金以外の諸費用が思ったより多いと感じる」「以前はショートステイのみでしたが今は入所していますので比較はできませんが、ショートステイの時のように紙おむつ持参でないのが助かっています」などの記入がありました。

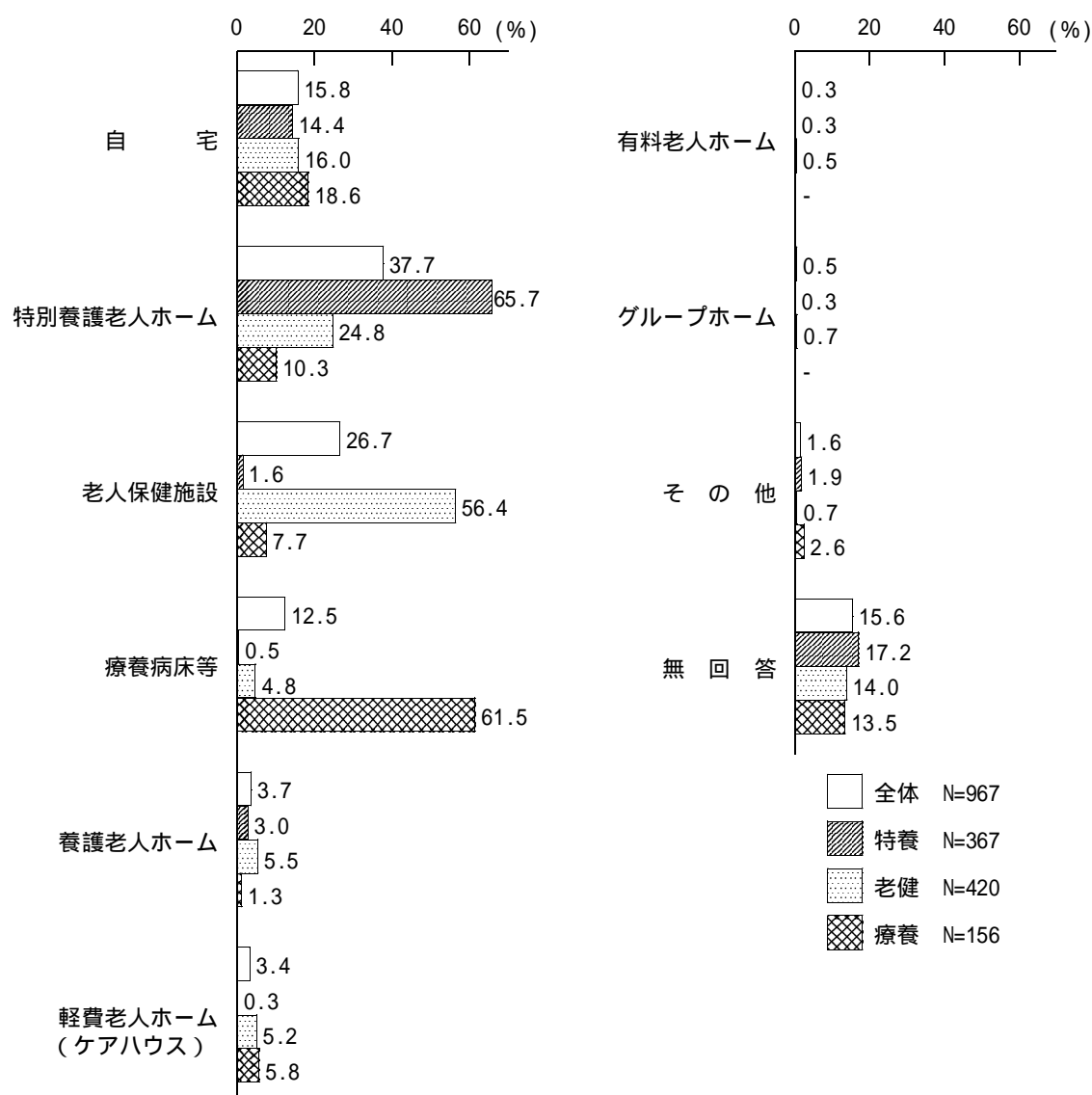
図4-14 金銭的負担感の変化



5 今後の介護を受けたい場所

「本人の希望として、今後、どこで介護を受けたいとお考えですか」という設問に対しては、「特別養護老人ホーム」(37.7%)、「老人保健施設」(26.7%)、「自宅」(15.8%)、「療養病床等」(12.5%)の順になっています。特別養護老人ホームに入所している人の65.7%が「特別養護老人ホーム」と、老人保健施設に入所している人の56.4%が「老人保健施設」と、療養病床等に入所している人の61.5%が「療養病床等」と答えています。

図4 - 15 今後の介護を受けたい場所（複数回答）



「その他」等として、以下の記述がありました。

今のままでよい。(14件)

本人に確認することは不可能。(4件)

無理かもしれないが、自宅がいい。(4件)

わからない。(3件)

どこでも良い。(3件)

本人に意思のない場合は、病院等の施設などが安心です。(2件)

家族・子どもに任せる。(2件)

入院したい。(2件)

将来は居宅介護に切り替えたいと思うが、現在の制度内容では、経済的にも介護者の労力からも負担が過重と想定されるので不安です。

本人は口には出さないが、多分自宅が良いと思っていると思う。そういうことができる条件がないのでどこでも良いと思っていると思う。色々施設はあるが、本人はどんな所が自分にあっているのかわからないし、家族にも良くわからない。

金がかからないホームにお願いしたい。

本人は何も希望らしきことは言わないけれども、自宅へ帰りたいたいと思っているかもしれません。

精神発達障害のため、理解できない。

リハビリがしっかりある病院

本人は痴呆のため不明だが、家族の希望としては特別養護老人ホームで介護を受けたい。

脳梗塞で主人と息子も入院中で生活に困っております。利用料免除等の手続きをお願い申しあげます。

老人ホームを増やしてほしい。

簡単に変わるものなら変わりたい。

町の中の施設に行きたい。

おむつの世話をしてもらえるところで歩けるように訓練してもらえる場所がいい。

ここでいいが、たまに部屋で一人になりたいときがある。

自宅に帰っても頼る人がいないのでここで生活する。

特に希望はない。

家に帰りたいが家がない。

介護の施設でなく、趣味が楽しめる、お金のかからない所を希望する。

自宅で生活し、デイサービスに通うのがよい。

6 調査票の記入者

調査票の記入者は「家族」(59.3%)、「その他」(28.9%)が高く、「本人」は1.2%(12人)にすぎません。特別養護老人ホームは、「その他」が70.3%と高くなっていますが、この多くは岐阜市社会福祉協議会のケアマネジャーと推察されます。老人保健施設および療養病床等は、「家族」の率が非常に高くなっています。これは、市内の特別養護老人ホーム入所者以外の人については、その人の住所地へ調査票を郵送したからだと推察されます。「後見人」と添え書きしている人が2人いました。

図4-16 調査票の記入者

